

受付番号 第 号
200年 月 日
時 分

山県市議会議長 様

山県市議会議員
寺町知正 印

一般質問通告書

下記のとおり質問したいので、通告します

質問番号 1番 答弁者 副市長
質問事項 東海環状自動車道計画の現状と今後

《質問要旨》

旧高富町には、ずっと以前から国道のバイパス計画があった。

計画は、富岡地区を北から南に流れる鳥羽川の少し西側に沿って、つまり地区の真ん中を縦に切る形のルートだった。

このバイパスと交差してインターを設置すべく、東海環状自動車道のルートが発表されたのは1994年(H6)。

ルートは、旧高富町の富岡小学校区を東から西・南方向に延長約5.3キロメートル、高さ15メートルほどの高架橋の道路として横切るという計画案。

この計画に対して、その悪影響への心配から、ルート通過地域のすべての自治会、9つの自治会がルートに異議ありの趣旨の文書を国、県、市に提出した。

それほどに、住む人たちの環境に不安を与える計画だった。

混乱をかかえたまま、都市計画決定されたのは1996年(H8)。

時間の経過とともに、受け入れ方向に流れていった。

そして、15年あまりを経て、現在にいたる。

そこで、この道路計画に最も長く、最も深くかかわってきた副市長に問う。

東海環状自動車道計画・西回りルート全体および山県市内部分、同時進行するとされる国道256号バイパスの関係部分について、事業の進行状況と国、県、山県市の今後の展望を簡潔にまとめられたい。

以上